

令和7年度 重点的な取り組みの報告

在宅医療・介護連携推進事業

医療・介護市民公開講座の開催

日時 令和7年11月9日（日）13:30～16:00

場所 高梁総合文化会館

内容

- ・若年性認知症をテーマとした映画「オレンジ・ランプ」の上映
- ・映画「オレンジ・ランプ」を観て
さきがけホスピタル 児玉 昌純 副院長
認知症当事者の声の紹介
- ・脳の健康度チェック実施

参加者 350名



脳の健康度チェック



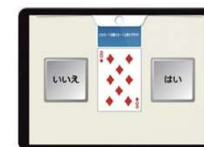
内容：スマホやタブレットを使い、トランプゲームのような簡単なテストを行い、記憶力や集中力を測定し、自分の脳の健康度を知る

実施時間：15分程度

実施者：15名

結果：集中カスコア A9名 B3名 C3名
記憶カスコア A14名 C1名

※脳年齢の低下までではなく、医療機関へ紹介する結果の方は無し



人生会議の普及啓発

・昨年まで、市民公開講座での普及啓発など、広く市民一般向けの周知に力を入れていた。今年度は、実務者の普及啓発（視察研修など）に力を入れた。

- ①ヘルパー協議会への普及啓発 R7. 5. 31
- ②ケアマネ研修会での普及啓発 R7. 6. 20
- ③実務者協議会視察研修（奈義町社会福祉協議会）
R7. 9. 17



実務者協議会視察研修

多職種連携研修会の開催

日時 令和7年12月12日（金）19時～20時20分
場所 高梁市役所3階大会議室
（集合研修 講師のみリモート参加）

出席 53名

内容 岡山県北でのACP（人生会議）普及の取組みについて

講師 岡山家庭医療センター
奈義・津山・湯郷ファミリークリニック
医師 松下 明 先生



ICTを活用した医療・介護連携システムのあり方検討

『ラインワークス』を活用した情報連携

5月末日現在 98事業所 126IDで運用

1月末日現在 102事業所 130IDで運用

- ・活用できている事業所と出来ていない事業所の差が出ている。
→初級者向けの短時間の講習会の開催
6月5日、6月12日、6月18日、6月24日実施
- ・新たな運用方法の検討
→災害時の運用について研修を開催。
11月20日実施
- ・無料運用期間の最終年度に向けての取組み
→1月にアンケート調査を実施

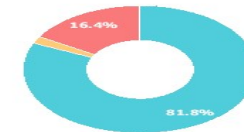


FINE-LINK+ 継続利用に関するご意向確認_高梁市（令和9年度以降）

FINE-LINK+地域アドバイザー
25.12.17 11:30 - 26.01.24 17:00

回答 110

1. 継続利用のご意向について
回答 110 未回答 0



選択肢種 ▼

①継続する	90 (81.8%)
②継続しない	2 (1.8%)
③現時点では未定	18 (16.4%)

専門職のスキルアップと人材育成


- 多職種連携研修会の開催
- ホームヘルパー研修会の支援
- 高梁かngoねっと事業



- ・看護職のスキルアップ研修
看護研究、新入職者研修、フィジカルアセスメント研修、
危険予知トレーニング研修、皮膚・排泄ケア研修など
- ・訪問看護ステーションの連携構築
- ・人材確保のためのPR

認知症総合支援事業

認知初期集中支援推進事業

- 認知症初期集中チーム員研修
受講者 2名 ⇒ チーム員 計8名 
- 認知症初期集中支援チーム員連絡会議の開催
年3回(5月、10月、1月)
- 認知症初期集中支援チーム
対応ケース 6件 延べ訪問回数 17 回
延べチーム員会議開催数 11 回

認知症初期集中支援チーム員連絡会議の開催

- 第1回:令和7年 5月29日(木)
- 第2回:令和7年10月30日(木)
- 第3回:令和8年 1月29日(木)

参加者: 認知症サポート医3名
認知症初期集中支援
チーム員8名

内 容: 現状と課題について
事例検討・情報交換



認知症カフェ運営事業

- ◆認知症カフェ団体の運営支援（8団体）
 - カフェすずらん（竹谷急送）
 - ふらっとカフェオレンジ（ウェルネス津川）
 - マスカットカフェin高梁（マスカット薬局）
 - カフェキク（ボランティア団体カフェキク）
 - サニー健幸ラウンジ（サニードラッグ）
 - なりわ茶屋（まつうらクリニック）
 - なりわ茶屋in川北（ゆう）
 - かわかみ茶坊（ボランティア団体かわかみ茶坊）
- ◆認知症カフェ連絡会の開催
 - 第1回 7月25日（金）
 - 第2回 1月27日（火）
- ◆認知症月間での認知症カフェ紹介のパネル展示



認知症月間を中心とした普及啓発活動

- パネル展示（イズミ、ポルカ、高梁市図書館、高梁中央病院、成羽病院）
- まちかど相談会（イズミ、ポルカ、成羽病院）
- 街頭啓発活動（イズミ、ポルカ）
- のぼり旗の設置（市役所、各地域局）
- ポスター掲示
- リーフレット配布
- マグネットステッカー貼付
- 認知症サポーター養成講座の開催
- 認知症図書フェア
- 吉備国際大学でのパネル展示（10月1日～30日）

認知症月間の普及啓発活動



パネル展示

来場者数
イズミ：54名
ポルカ：62名
高梁市図書館：25名
高梁中央病院：122名
成羽病院：37名
吉備国際大学：53名



認知症サポーター養成講座
（一般市民向け）



まちかど相談会



街頭啓発活動

認知症施策検討委員会委員
チームオレンジ
オレンジサポーター
キャラバンメイト 38名

オリジナルうちわ
作成・配布

マスカット薬局による
もの忘れチェックも実
施しました



のぼり旗設置



認知症図書フェア
（高梁市図書館、各図書館）

オレンジガーデニングプロジェクトの実施



認知症になっても暮
らしやすい街づくり
をみんなでめざしま
しょう

- ・キャラバン・メイト
- ・オレンジサポーター
- ・認知症サポーター
- ・認知症カフェ運営団体
- ・市内グループホーム
- ・市内介護保険事業所
- ・チームオレンジたかはし
- ・認知症施策検討委員会委員
- ・地域包括支援センター運営協議会委員

パネル展示を行いました

認知症サポーター養成講座



成羽小学校



高梁小学校（4年生）



高梁警察署生活安全刑事課

講座開催数 20回
 受講者数 444人（初回受講者377人）
 （R8.1末現在）

認知症サポーター活動推進・地域づくり推進事業

認知症サポーターステップアップ講座によるオレンジサポーターの育成



（希望者対象）
 令和7年10月29日
 令和8年 1月30日
 新規修了者：6名
 うちオレンジサポーター：5名登録



（備中町田原地区）
 令和8年1月15日
 2月19日（予定）

チームオレンジたかはし



チーム布瀬のわ
 令和4年11月結成



チームオレンジ羽場
 令和5年7月結成



チームオレンジ睦地有志
 令和6年4月結成



チームオレンジかわかみ
 令和5年3月結成



チームオレンジ土居
 令和7年9月結成



チームオレンジ・オレンジサポーターのフォローアップ研修の実施

- ・有漢地区、川上・備中地区それぞれで研修交流会を実施
- ・地区にチームオレンジのない、オレンジサポーターより「活動実態を知れて参考になった。地域に持ち帰りたい」と前向きな意見があった



本人ミーティングの開催

- 令和7年6月18日（水）13：30～15：30 たいこまるプラザ
本人 7名 家族 4名 支援者 7名
事務局 包括職員 5名 計 23名
本人、家族交流。どら焼きづくり
本人ミーティングの名称決定 『ぼかぼかサロン』
- 令和7年11月4日（水）13：30～15：30 たいこまるプラザ
本人 9名 家族 6名 支援者 7名 その他 1名
事務局 包括職員 8名 計 31名
本人、家族交流。ちぎり絵作成

本人ミーティングの様子



おやつ作り



↑持参した写真を見ながら思い出話

ちぎり絵の様子



ご夫婦で仲良く作成中

できました！



家族介護者交流事業（元気回復事業）

目的：在宅家族介護者の介護技術・知識の研鑽、介護者交流

- 第1回 令和8年8月18日（月） 会場：市役所2回保健センター
参加者：8名 講師：マスカット薬局・市管理栄養士
内容：参加者の健康チェックと冷凍介護食の実食、参加者交流
- 第2回 11月6日（木） 会場：新見千屋温泉 いぶきの里
参加者：4名 協力：介護支援専門員協会高梁支部
内容：移動研修、参加者交流会
- 第3回 令和8年2月24日（火） 会場：たいこまるプラザ
講師：健康づくり課 管理栄養士
内容：不足しがちな栄養を補う簡単調理実習、参加者交流会

家族介護者交流事業（元気回復事業）



第1回の様子



第2回の様子

第3回案内

家族介護者のつどい

～家族介護者の皆様へ～
日々の介護から少し離れて「フレッシュしませんか？」
在宅で介護をされている方を対象に「家族介護者のつどい」を
以下の内容で開催します。お気軽にご参加ください。

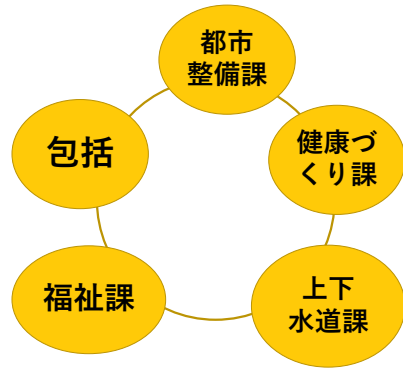
【開催日時】
○令和8年2月24日(火)10時00分～12時00分
【内容】
○講話と簡単な調理実習：
不足しがちな栄養を補う簡単おやつ(飯)
講師 高安市健康づくり課 管理栄養士 小神静香
○交流会
【場所】
○成羽総合施設（たいごまるプラザ）1階 シェアキッチン
（高安市成羽町下原606）
【参加費】
○100円（材料代として）

【申込締切】令和8年2月13日(金)

申し込み・問い合わせ先
高安市高齢者支援課 地域包括支援センター
福祉ステーション 0566-43-4312
または本庁 0566-21-0300

要支援者の早期発見・早期介入

1) 要支援者早期発見ミーティング



令和7年5月29日 第1回目の
ミーティング開催
個別事例についての情報交換・
今後の支援方針の共有

健康状態不明
高齢者訪問

2) 高齢者の見守り強化

R7利用者
・センサーなし48人
・センサーあり44人
・携帯 3人

現在の緊急通報システムに加えて、
固定電話未設置世帯向けのシステム導入
R7実績：3件



固定電話がなく
ても設置できる
システム

3) 地域見守り活動に関する協定

- ・協定締結先：おかやまコープ
- ・情報提供：購入品がそのままになっており
自宅に応答がない




本人の取り忘れ
元気にデイサービスに通所していた



住民主体の通いの場、通所付添サ ポート事業の推進

通所型サービスB(住民主体の通いの場)

- 住民主体（ボランティア）による自主的な通いの場 
- 市内3団体が実施中
 - ・高梁地域：「ホッと広場たかはし」 令和7年3月27日開所
 - ・巨瀬地域：「もくもくDAY」 令和2年10月1日開所
 - ・有漢地域：「うかん気楽会」 令和5年3月29日開所
- 実施内容
住民ボランティアによるロコモ予防体操やレクリエーションを通じた
介護予防サービスを提供

通所型サービスB R7

	ホッと広場 たかはし	有漢気楽会	もくもくデイ
参加 登録者数	87人	27人	34人
年間 開催回数	46回	47回	41回
1回の 参加者数	25人前後	15人前後	20人前後

通所付添サポート事業

・住民互助による【通所付添活動】の目的
自力で外出が難しくなった人が、地域との交わりが途絶えてしまわないように住民同士で支援していく

- ☆通所付添サポーター 2人1組
- ☆使用車両 社会福祉法人又は団体の車両
- ☆ボランティア活動 有償（運転手は無償）
- ☆利用者負担 有り

岡山県通所付添
サポーター養成講習

通所付添サポーター

2人
1組

運営準備・運行計画
誘い出し・携帯品確
認・乗降介助・会場
まで付添



通いの場

定期的に介護予防活動
を行っている場

（ミニデイ・認知症カフェ
元気なからだづくり隊グループ活動
ロコモ予防体操など）

二人一組のボランティア
付添者（有償）・運転者（無償）

岡山県サポーター養成講座講習を受講

運行用車両
保険加入のため 要登録

乗降介助
自宅玄関まで付添

利用料：付添いに対する単価

1

『通所付添サポーター養成人数』

○通所付添サポーター数：**195人**（R8.1.31時点）

※R7新規養成者・・・23名

『通所付添サポート事業 実施団体（10地域）』

たかくらエスコート隊（R8.3～）



○高梁「ホッとたかはしお助け隊送迎サポート班」

○津川「きのりんサポート」○巨瀬「巨瀬町通いの場2020」

○中井「ほうこくんつきそい隊」

○落合「あいあいサポート隊」

○川上「かわかみお出かけ隊」○川面「ソルティール川面」

○松原「松原にここをサポート」○有漢「つきそい隊うかん」



住民主体の通いの場

元気なからだづくり隊

令和5年度 23グループ（337人）

令和6年度 23グループ（357人）

令和7年度 23グループ（312人）

（新規1、中止1）

【活動への支援】

- ・体力測定実施
- ・新たな体操紹介（運動指導士派遣、DVDレンタル）
- ・交流会の実施：令和7年10月16日（7グループ38人参加）
- ・グループ代表者研修会の実施：令和8年3月10日予定



交流会（ニュースポーツ）



ボランティア養成講座

【令和7年度】

- ・開催期間：令和7年12月2日、9日
- ・開催会場：高梁市役所
- ・講座受講：6名（うち3名いきいき生活サポーター登録）

いきいき生活サポート事業

【活動状況】

- ・1名（備中地区1名）



ボランティア養成講座

地域リハビリテーション活動支援事業



リハビリ専門職による 訪問相談はじめます

実績 4件

- ・ 個人への訪問相談 3件
(移動方法の検討、日常生活動作の評価等)
- ・ デイサービスへの指導 1件
(運動時のポイント指導)

日時：第2水曜日 13時から15時（地域ケア個別会議の前の時間を活用）
第3水曜日 13時から17時（6月、9月、12月、3月のみ）

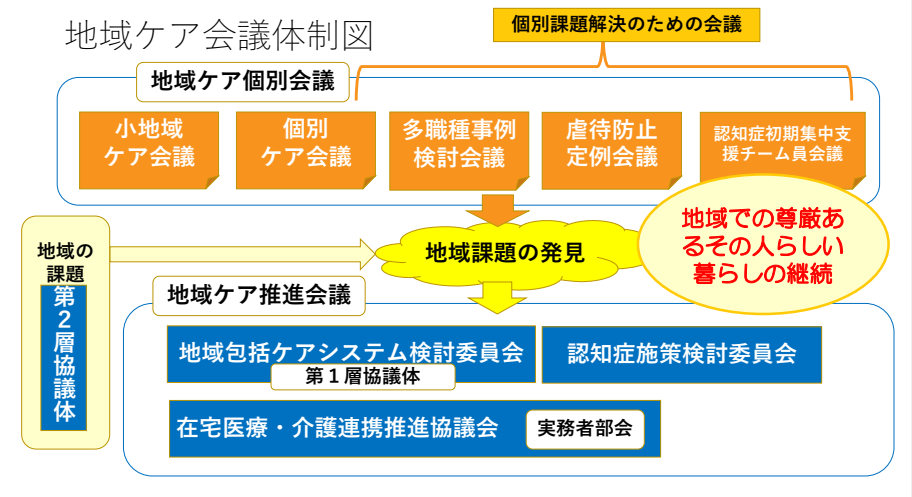
申込：訪問希望日の前週金曜日までに包括へ連絡してください
提出：ケアプランと訪問相談記録（相談したいポイントを記入）
内容：身体機能や日常生活動作の評価、福祉用具・住宅改修に関する相談
移動方法の検討など、自宅での困り後をと一緒に考えます
※リハビリ専門職はPTまたはOTになります

【岡山県地域リハビリテーション活動支援事業】

地域ケア会議の推進

- 1) 地域包括ケアシステム検討委員会
- 2) 認知症施策推進検討委員会
- 3) 在宅医療・介護連携推進協議会
- 4) 小地域ケア会議

地域ケア会議体制図



地域包括ケアシステム検討委員会

令和7年度 テーマ「高齢者の買い物支援」

<山間部>

【現状】

- ・ 商店・スーパーが少ない
- ・ 移動販売・個配はあるが曜日・時間が限定的
- ・ 公共交通が少なく車依存
- ・ 高齢化率が高く、独居・老老世帯が多い

【課題】

- ・ 買い物手段が選択肢ではなく“最後の一本”
- ・ 利用できない人が取り残されやすい
- ・ 免許返納後の移動手段が乏しい
- ・ 支援が個人の善意や民間努力に依存
- ・ 見守り、支援が点在し、つながりにくい

<市街地>

【現状】

- ・ 商店・スーパーは比較的多い
- ・ 交通手段（バス・タクシー）あり
- ・ 宅配・ネット注文の選択肢が多い
- ・ 高齢者は多いが地域差あり

【課題】

- ・ 「あるのに使えない人」が見えにくい
- ・ 距離は近いが歩行困難
- ・ 認知症で一人で買い物が不安
- ・ 困りごとが表面化しにくい
- ・ 地域とのつながりが希薄
- ・ 制度を「自分は対象外」と感じる

